



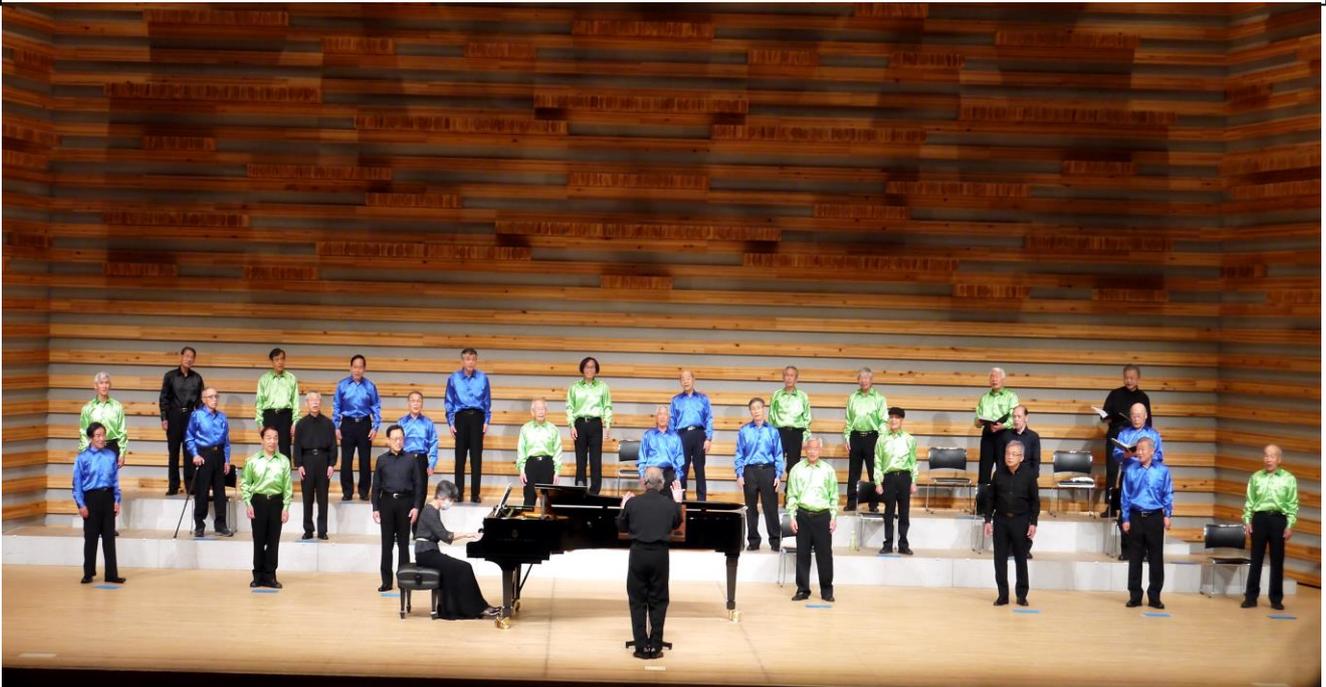
Subaru

男声合唱団

ニュース778 '22.4.26

「昂」13回コンサート「いのちの春よ 生きる喜びを歌おう！」開催！ ご来聴ありがとうございました

4月23日



□ 2022年4月23日(土)14:00~16:00 豊中市立文化芸術センター大ホールにて、「男声合唱団「昂」創立20+2周年記念 第13回コンサート」が開催されました。

当日は606名の方々にご来聴いただき、ありがとうございました。

「明るく元気な声で！うたを楽しもう！」の合言葉で昂メンバーは舞台上に立ちました。

合唱参加団員は27名（T1：8名、T2：5名、BR：8名、BS：6名）指揮：本並美德・伊藤 知、ピアニスト：森 二三・門 万沙子、司会：中村聖保。

どれだけ声が出るか？合唱の基本が守られる歌となるか？来聴者のこころと耳に歌（詞）を届けることができるか？

9時30分に集合、午前中の13:00までのリハーサルを経て、14:00からの本番に臨みました。

□ オープニング「日々草」で始まった第一部、13回コンサートテーマ：誰もが幸せに暮らせる平和な世界の実現を願って、「いのちの春よ 生きる喜びを歌おう！」

「生きるということ 春・希望」「しなやかにたくましく生き抜いてきた人々・民衆の歌」「いのちのときめきが心に響く世界と日本の歌を」

まず「春のメドレー」（たかしまあきひこ編曲「童謡・唱歌 四季のメドレー」より）を明るく、楽しく歌い上げました。

次に、「世界の歌」より

2月24日、プーチン・ロシアはウクライナを侵攻した！ウクライナの現状は、「昂」にとっても見過ごすことのできない、絶対に許すことのできないロシアの侵略行為です。第2次大戦時、世界で最大の犠牲者を出しつつも、ナチスヒトラーと闘ったロシアは今どこへ行ったのか！？

3曲目「白樺」：「白樺」は夜も寝ずに、この戦いの現実をみまもっているぞ！と、「平和への思いを白樺に託して」

4曲目：ロシアの大地を悠々と流れる大河ヴォルガ川、全てを抱擁する“母なるヴォルガを下りて”そして5曲目「ウクライナ」に心を寄せて、連帯を！「キエフの鳥の歌」（2部合唱）を歌い、ウクライナ「国旗」（青と黄色）を掲げました。

6曲目：「U Boj !」男声合唱、アカペラの代表曲の一つ。リズム・和音・曲想のいずれもが、ぴったりとこない難曲。「昂の ole soldiers」には、人数不足で歌に厚みが出ない。（アンケートより）

7曲目：「朝露」韓国の軍事独裁政権を倒し、民主化運動を励ましてきた、民衆の歌。ハングル語を2番に、よく歌い慣れた曲として、昂の愛唱歌となりましょうか？

第一部の各曲は、出来不出来はあれ、歌い慣れた世界の名曲を、心と声を合わせて歌える喜びが弾けたかのように、明るい元気な声で歌えたのではないのでしょうか！大きな拍手を受けました。



□第一部の最後に、組織部長・岡邑から、新しい「昂」の「組織的強化・創設」のための「入会のおすすめ」の説明がありました。

①「女性大歓迎 友の会募集」第1日曜日14：00～16：00

「うたう会（うたごえ喫茶）」を。次のコンサートで希望者のみ舞台で一緒に！3曲で（「川の流れるように」「昂」「キエフの鳥の歌」

②「月1回の日曜団員募集！」第3日曜日14：00～17：00

正団員と第3日曜日の曲のレッスンをおこない、次のコンサートと一緒に歌っていただく。（詳細は別紙チラシにて）

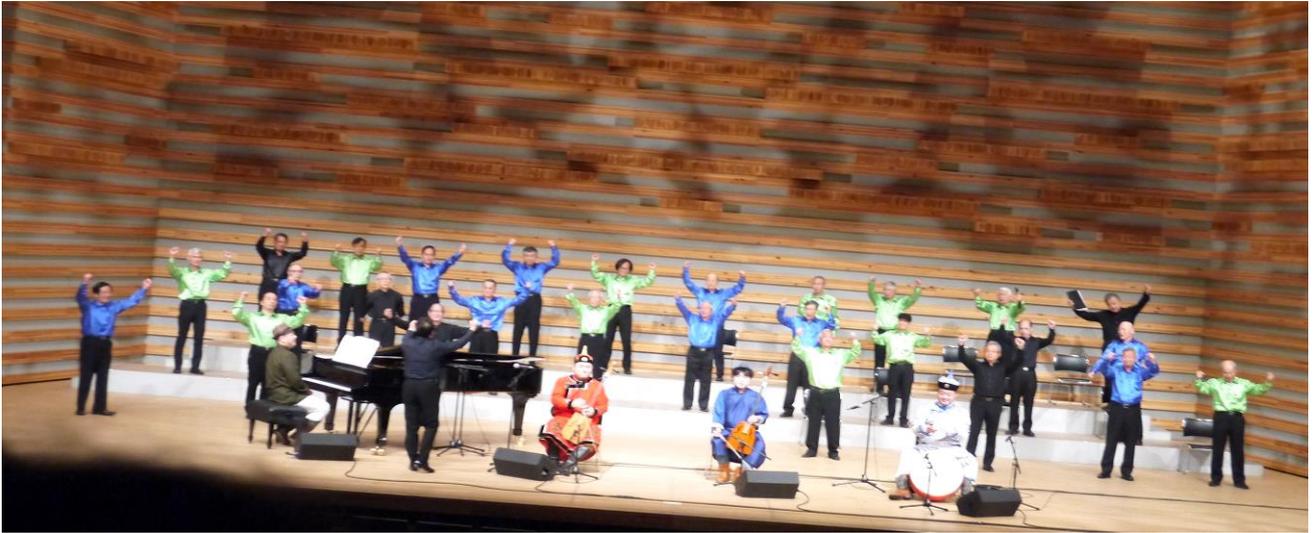


□第二部 モンゴルの大地から <風>をテーマに、「スーホの白い馬モンゴル楽団」をゲストに迎えて、モンゴル大地からの「風」が会場に吹きわたりました。

「広大な大地に育まれた、民族楽器から流れ出る軽やかで美しい音、伸びやかで雄大な男モンゴルの声とホーミー。「黒幕日（ヒムリー）」ほかモンゴル民謡5曲を、民族楽器（馬頭琴）、ホーミー、

口弦、モンゴル打楽器であわせました。多くの聴衆が普段聞けない民族楽器のおだやかな音に聴き入っていました。

最後に、モンゴル曲「歓びのナーダム」（本並美德：日本語詞）を、「昂」と「モンゴル楽団」とで合同演奏をおこない、大きな拍手を受けました。



「歓びのナーダム」合同演奏盛り上がる！ 「うたおー うたおー アーー ヘイ！」

□第三部では、「いのちを歌う〈愛〉」のテーマで、前半を、「昂」の創作曲として、「昂はうたう」（千秋昌弘作詞・森二三作曲）と本並美德作曲「地雷ではなく花をください」の2曲を仲間への熱い思い、平和への強い決意を込めた曲として合唱しました。



男声合唱団「昂」が“平和”を大事にして歌ってきた理由の一つに、「昂」創設者・「昂名誉団長」藤後博巳さんの、「満蒙開拓団」以来の厳しい人生経験：「決して戦争をしてはならない！平和とともに生きよう！」という語り部としての思いがあることが紹介されました。



藤後名誉団長

続いて、千秋昌弘作詞・森二三作曲の組曲『満蒙の地「方正」のうた』『方正はいくさを物語る』を千秋昌弘の独唱で、次に、「方正の青い空～国は違えど同じ人間～」を合唱で歌いました。



冤罪で27年間、布川事件の桜井昌司さん作詞・作曲：山下和子編曲の「ゆらゆら春」を奥村克美：ソロ、千秋昌弘：オブリガードで熱唱しました。(前列右：奥村克美)

続いて、谷川俊太郎 作詞 武満 徹 作曲の名曲「死んだ男の残したものは」と「いのちの歌」(作詞：Miyabi 作曲：松村宗継)を「一人一人の命の大切さ、日々の幸せをもとめ、平和に生きる」そしてウクライナの人々に想いを寄せて歌いました。最後にアンコール曲として、谷村新司・作詞作曲の「昴」を、モンゴル楽団の伴奏つきで、フルコーラスで合唱し、終演としました。



アンコール曲「昴」合同演奏



モンゴル劇団のメンバーと「昴」指揮者：本並美徳 終演で退場！

男声合唱団 昴 と共に歌おう

月一回の

日曜団員 大募集

毎月の第三日曜日に、昴の練習に参加して、
2023年春のコンサートで、あなたも舞台へ

- ★ 生きがいを見つきたい
- ★ 何か打ち込めるものがほしい
- ★ カラオケで友達に少し差をつけたい
- ★ 忙しいけど思いっきり発歌したい

そんな あなたの願いを実現します。あこがれの男声合唱に挑戦しませんか？
合唱は初めてでも、カラオケがやったことがなくても、大丈夫！
自分の意外な一面を発見できるかもしれません。

第3日曜日、次回コンサートで歌う曲の中から、決まった数曲を練習します

- 第一回目は、5月15日(日)午後2時から始めます。
- 参加費用は1000円です。見学も大歓迎です。



ねむかホール

542-0012 大阪市中央区谷町7丁目1番39号
新谷町第二ビル 308号

連絡先 岡邑洋介 090-8168-9347
立川孝信 090-6058-5652



男声合唱団 昴

友の会募集

女性大歓迎



男声合唱団「昴」は「うたごえは平和の力」を合言葉に、コンサートや地域での活動を行ない、
震災の復興支援や職場で闘う仲間への支援など行ってきました。
男声合唱団「昴」友の会は、この男声合唱団「昴」が更に大きく発展するよう支援して行くこと
を目的とし、団との交流を図りながら、会員同志の親睦や友情を深める活動を行います。

- 友の会主催で定期的なうたごえ会を開催します
- 毎月の第一日曜日14:00~16:00まで、2023年春に予定の第14回昴コンサートで、昴と歌う曲(2から3曲)の練習をねむかホールで始めます。お気軽にお越し下さい。
- 第一回目は、7月3日(日)に開始します。見学も歓迎です。参加費用は1回1000円です。

昴 友の会 会則

- 第1条 本会の名称を、男声合唱団「昴」友の会とします。
- 第2条 本会は男声合唱団「昴」のコンサートや行事を積極的に支援して行きます。
- 第3条 年会費(1月~12月)は1,000円とします。(7月以降の入会は500円とします)
- 第4条 昴の行うコンサートや「うたごえ」の入場料を割り引きます。
- 第5条 総会は、会員同士や団との交流を兼ねて、年1回開催し、活動報告、会計報告・役員を選任・会則の変更ほかをを行います。
(総会はうたごえを兼ねて行ないます)
- 第6条 事務所は、ねむかホールにおきます。
- 第7条 役員は以下の通りとし、総会で承認を受けるものとします。
会長 副会長 事務局長 事務局員(若干名)



ねむかホール
542-0012
大阪市中央区谷町7-1-39
新谷町第二ビル 308号

連絡先 岡邑洋介 090-8168-9347 立川孝信 090-6058-5652

男声合唱団 昴 友の会 入会申込書

お名前 _____ 連絡先電話番号 _____
住 所 _____
メールアドレス _____ @ _____